

2022年1月7日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 阿部 直也

ウズベキスタン国ナボイ火力発電所近代化事業（フェーズ3）
（協力準備調査（有償））
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2021年12月20日（金）14:00～16:28
- ・場所：オンライン会議（Teams）
- ・ワーキンググループ委員：阿部委員、柴田委員、寺原委員、松本委員
- ・議題：ウズベキスタン国ナボイ火力発電所近代化事業（フェーズ3）（協力準備調査（有償））に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 【DFR 本体】ウズベキスタン国ナボイ火力発電所近代化事業（フェーズ3）
 - 2) 【A-LARAP】ウズベキスタン国ナボイ火力発電所近代化事業（フェーズ3）
 - 3) 【Public Hearing 議事録（2021.4.29）】ウズベキスタン国ナボイ火力発電所近代化事業（フェーズ3）
 - 4) 【EIA 500 kV 送電線】ウズベキスタン国ナボイ火力発電所近代化事業（フェーズ3）
 - 5) 【EIA CCGT Unit No.3, 4(発電所)】ウズベキスタン国ナボイ火力発電所近代化事業（フェーズ3）
 - 6) 【EIA ガスパイプライン 15.53km】ウズベキスタン国ナボイ火力発電所近代化事業（フェーズ3）
 - 7) 【EIA ガスパイプライン 8.9km】ウズベキスタン国ナボイ火力発電所近代化事業（フェーズ3）
 - 8) 【SC 案回答表】ウズベキスタン国ナボイ火力発電所近代化事業（フェーズ3）（協力準備調査（有償））DFR
 - 9) 【助言対応表】ウズベキスタン国ナボイ火力発電所近代化事業（フェーズ3）SC 案
 - 10) 回答表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第132回委員会）

- ・日時：2022年1月7日（金）13:58～15:49
- ・場所：JICA 本部2階 227会議室およびオンライン会議

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. ウズベキスタンの電カマスタープランは非公開であるものの、ナボイの既存発電所の廃止は、本事業の効果と密接に関係するため、廃止の条件やタイムラインをより明確にFRに記述すること。
2. 本事業完成時には旧発電所は停止（保管）されると書かれている。どのような時に旧発電所が稼働され、累積的な環境影響を考慮する必要があるかどうかに関して理由とともにFRに記述すること。

環境配慮

3. 本事業の実施段階におけるコンサルタント業務の記述のうち、環境専門家の業務内容について、その概要を業務特性に応じた追加情報を加えてFRに記述すること。

社会配慮

4. プロジェクト地ではセキュリティ確保の観点からパスポートをチェックするとのことだが、それによって現地で生活する外国籍の住民が一律に建設工事での雇用機会を得られないことにならないようFRでの記述を工夫すること。

ステークホルダー協議・情報公開

5. 被影響住民に対しては、住民協議に参加していない周辺住民を含めて引き続き説明・協議を継続し、それに対する対応をFRに記述し、JICAは対応の実施を確保すること。

以上